

国立国会図書館のデジタルアーカイブ関連の研修等について

1. 遠隔研修「資料デジタル化の基礎」

【内容】デジタルアーカイブ事業の進め方と、資料をデジタル化する際に必要となる、技術や権利処理について、基本的な知識の習得をめざすもの。

【受講方法】インターネットで誰でもいつでも受講可能。申込みも不要。

「図書館員向け研修のページ」> インターネットで受講する(遠隔研修)

<http://training.ndl.go.jp/remote/index.html>

2. 講師派遣型研修「(3) 図書館等の事業支援に関する研修 ①資料のデジタル化」

【内容】国立国会図書館での事例紹介を交えつつ、図書館等における資料のデジタル化事業の進め方について説明したもの。「デジタルアーカイブと資料のデジタル化」又は「資料デジタル化に伴う権利処理」をテーマにした1時間30分程度の講義。

【申込方法】27年度のお申込みは終了。28年度のお申込み受付開始は28年3月頃の予定。

「図書館員向け研修のページ」> 研修講師を派遣します(講師派遣型研修)> 平成27年度講師派遣型研修のテーマ一覧

http://training.ndl.go.jp/detachment/theme_2015.html

※なお、平成24～26年度に集合研修で行った「資料デジタル化研修」の資料は以下からアクセス可能。(27・28年度は開講なし) <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8378507>

3. 資料デジタル化の手引の公開について

国立国会図書館で行っている資料デジタル化の手引を公開。

国立国会図書館HPトップ> 国立国会図書館について> 資料デジタル化について> 国立国会図書館資料デジタル化の手引

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/digitization/guide.html>

4. 「国立国会図書館サーチ」との連携調整

「国立国会図書館サーチ」との連携には、各機関のデジタルアーカイブにおける外部提供インターフェース(API)の実装が必要であるため、連携に関する技術的な要件、手続等について、情報公開を行っている。また、問い合わせフォームを用意し、随時相談に応じている。

サーチメインページ> 国立国会図書館サーチについて> 連携を希望される機関の方へ

<http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/>

※平成28年度には、国立国会図書館サーチの連携拡張のためのデジタルアーカイブ関連イベントの実施を検討中。